



# 学校だより

1月号

令和3年1月7日

さいたま市立植竹小学校

〒331-0813 さいたま市北区植竹町2-1

TEL 048-663-7627

FAX 048-663-9885

E-mail uetake-e@saitama-

学校教育目標 ○すすんでまなぶ子 ○たすけあう子 ○げんきな子

児童数 749名

あけましておめでとうございます

校長 野津 美智代

令和3年が始まりました。今年は丑年。「丑」は中国で生まれた漢字で、本来の意味は「からむ」という意味があり、芽が種子の中で伸びることができない状態を表しているそうです。これを後に覚えやすくするために「牛」の意味があたえられたようです。「牛」は古くから食牛、乳牛、耕牛と呼ばれ酪農や農業で人々を助けてくれる存在として重要な生き物でした。大変な農業を地道に最後まで手伝ってくれる様子から、丑年は「我慢（耐える）」や「発展の前ぶれ（芽が出る）」を表す年になると言われているようです。まさに、現在の世相を表している年になるかもしれません。

さて、2学期に学年ごとの『体育フェスティバル』を行いました。

ラインカーで白線を引く児童。マイク、スピーカーなどの放送機器を用意する児童。児童が書いた得点板や各クラスのスローガン。児童主体で計画・運営を行い、運動会とは一味違った体育的行事となりました。

児童の懸命に走りぬく姿、拳を振り上げ応援する姿、喜ぶ姿を目の当たりにし、感動で胸がいっぱいになりました。多くの保護者の方々にも、子どもたちに温かな声援を送っていただき、誠にありがとうございました。

1年生の体育フェスティバルの時、ある保護者の方が私に声を掛けてくださいました。

「校長先生、私には1年生と6年生の子どもがおります。運動会ができなかった代わりに、このような行事を行っていただき、本当にありがとうございました。」

本来であれば、保護者や地域の方々には親善球技大会、駅伝大会、授業参観、運動会など、多くの行事で児童の成長した姿をお見せしたかったのですが、たった一つしかできなかったこの行事への感謝の言葉をお聞きして、私の目には涙があふれてきてしまい、次の言葉をお伝えすることができませんでした。

「こんな素晴らしい体育フェスティバルを企画し、実行できたのは、子どもたちと教職員の力です。」

新型コロナウイルス感染拡大防止のために様々なことにも「我慢（耐える）」。そして、ワクチンの実用など収束に向かう世の中になることを信じ、学校も歩みを止めず進んでいく「発展の前ぶれ（芽が出る）」。

今年も新型コロナウイルスに負けず、子どもたちのことを第一に考え、教育活動を進めてまいります。どうぞよろしく申し上げます。